平成 30 年 10 月 4 日発行　NO.2231　第 2384 例会　　会長　高田 一行　　幹事　杉森 幹男　　会報委員長　小林 定雄

例会報告（平成 30 年 9 月 20 日）

移動例会（観月会）

大相撲秋場所観戦

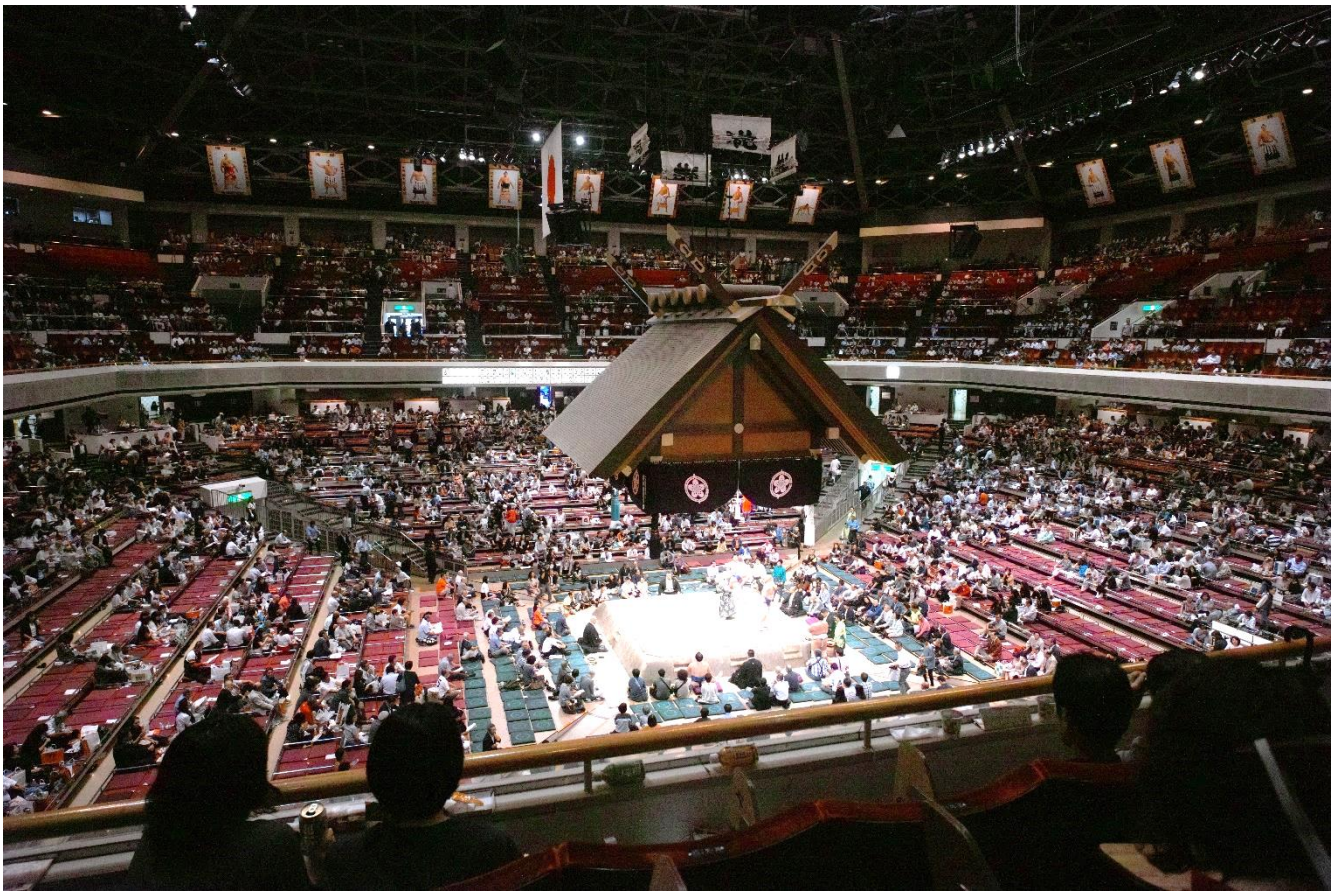
7：30　あきば造花店駐車場集合

11：00　日の出桟橋
水上バス
浅草ﾋﾞｭｰﾎﾃﾙｽｶｲｸﾞﾘﾙﾌﾞｯﾌｪ
浅草散策

14：30～15：00 両国国技館入館

20：30　あきば造花店着

浅草水上バス乗り場にて



大相撲観戦を終えて　（クラブ広報委員長 桜井隆宏）

今年の観月会、お目当ては最後の大相撲観戦。石田親睦委員長のご尽力もあり、席は見やすい二階席前列。よく大相撲はマス席といわれるが土俵から遠いマス席では見づらく 1.5 メートル四方に 4 人座るのは関取クラスもいる当クラブのメンバーにとっては苦痛である。最高の観覧席でありました。幕内土俵入り、横綱土俵入り、弓取り式までやっぱり生の迫力は違います。何といっても今場所の話題は 8 場所ぶりの出場となった稀勢の里です。この日の相手は大関取りもかかった関脇御嶽海です。大相撲の末、稀勢の里が寄り切りで御嶽海を破り 9 勝目、場内大歓声です。負け越せば引退もささやかれる中、結果何とか 10 勝を挙げ協会も一安心といったところでしょうか。他の取り組みも力相撲が多く大盛り上がりでしたが、何といっても目立ったのが横綱白鵬の強さでした。前日横綱鶴竜を豪快につり出した怪力大関の栃ノ心をわずか 3 秒で土俵に転がしてしまいました。このあとも白鵬は他を寄せ付けず 15 戦全勝で歴代 1 位 41 回目の優勝を飾りました。マニアックな私の注目は、逸ノ城－魁聖の二人合わせて 420 キロ、ほぼ牛豚対決です。巨大な肉塊のぶつかり合いはまぁ凄かった。たくさんのお土産もつけていただき、大満足の大相撲観戦となりました。